

AMCoR

Asahikawa Medical University Repository <http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/>

看護研究集録(2012.09) 平成22年度:164.

患者間コミュニケーションの検討

押方智子、芝紀美江、小澤和永、中島香織、山品将祥

患者間コミュニケーションの検討

旭川医科大学病院 放射線部 押方 智子、芝 紀美江、小澤 和永、中島 香織、山品 将祥

【目的】

当院では、日々の治療に固定の配置で看護師が付き添っている。

患者は通院中に看護師や患者同士と関わる事は時間も短く、話せる場もない現状である。

そこで、患者同士のコミュニケーションを図り、情報交換の出来る場を設けた。

【方法】

患者同士のコミュニケーションの場に参加した患者に対し、終了後研究の趣旨を明記した文章を説明しアンケート用紙を配布した。アンケートは参加についての4項目と自由記載の項目とした。自由記載はカテゴリー化し内容を抽出した。

特に印象に残った会話の事例を通し患者の思いを分析する。

【結果】

2回の開催で参加者は11名で、アンケートは全員から回答があり、参加者全員がこの企画が良かったと認識しており、開催の継続を望んでいた。

自由記載では情報交換ができたこと、同じ治療の人と会話できたとの内容が多かった。

多く話されたのは、放射線皮膚炎の変化、注意点、病気についてであった

事例①は車のシートベルトによる圧迫予防の工夫、皮膚症状の変化を把握し安心できた事を話された。

【考察】

患者同士情報交換が出来たことにより、治療、病気に対する不安の軽減になったと考える。